



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日
東

上場会社名 株式会社 名村造船所 上場取引所
コード番号 7014 URL <https://www.namura.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)名村 建介
問合せ先責任者 (役職名)取締役兼常務執行役員経営業務本部長 (氏名)向 周 TEL 06-6543-3561
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日
配当金支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	96,955	4.3	11,687	19.4	13,680	15.9	11,512	△1.4
2023年3月期第3四半期	92,945	63.5	9,791	—	11,802	—	11,673	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 18,395百万円(44.0%) 2023年3月期第3四半期 12,772百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第3四半期	166	09	164	74
2023年3月期第3四半期	168	84	167	36

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	156,181	—	67,666	—	43.1	—
2023年3月期	124,901	—	49,964	—	39.8	—

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 67,377百万円 2023年3月期 49,706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00	—
2024年3月期	—	5.00	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	135,000	8.8	14,000	45.9	15,000	31.9	13,000	16.1	187	58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	69,345,051株	2023年3月期	69,252,551株
2024年3月期3Q	9,012株	2023年3月期	8,639株
2024年3月期3Q	69,312,657株	2023年3月期3Q	69,138,548株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する説明	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する説明

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率
売上高	92,945	96,955	4,010	4.3%
営業利益	9,791	11,687	1,896	19.4%
経常利益	11,802	13,680	1,878	15.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	11,673	11,512	△161	△1.4%

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は96,955百万円、営業利益は11,687百万円、経常利益は円安による為替差益(920百万円)を含め13,680百万円、税金等調整前四半期純利益は13,731百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は11,512百万円で、法人税等の負担増(前年同期比2,061百万円増)により前第3四半期連結累計期間比で161百万円減少しております。

当第3四半期連結累計期間の為替レートは以下のとおりです。

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	差額
期末レート(第3四半期連結会計期間末)(注1)	132.70円/US\$	141.83円/US\$	9.13円 円安
売上高平均レート(第3四半期連結累計期間)(注2)	130.53円/US\$	142.24円/US\$	11.71円 円安
工事損失引当金適用レート(第3四半期連結会計期間末)(注3)	132.70円/US\$	141.83円/US\$	9.13円 円安

(注1)未入金かつ未予約のドル建売上高は当第3四半期連結会計期間末のレートでもって円換算しております。

(注2)売上高平均レートは、「為替予約済レートを含む円換算売上高総額」÷「ドル建て売上高総額」であります。

(注3)工事損失引当金適用レートは、翌四半期連結累計期間以降に売上計上予定の未予約ドル貨を円換算する際に使用している社内レートで、期末レートと直近3か月の日次平均レートを比較して円高となる方のレートを採用することとしており、当第3四半期の決算では期末レートを採用しております。

＜セグメント別概況＞

当第3四半期連結累計期間のセグメント別概況は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	売上高				営業利益(△は損失)			
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
新造船	71,548	74,176	2,628	3.7%	10,049	12,077	2,028	20.2%
修繕船	11,438	12,725	1,287	11.3%	660	1,094	434	65.8%
鉄構・機械	5,459	5,032	△427	△7.8%	146	△204	△350	—
その他	4,500	5,022	522	11.6%	372	434	62	16.5%
計	92,945	96,955	4,010	4.3%	11,227	13,401	2,174	19.4%
消去又は全社	—	—	—	—	△1,436	△1,714	△278	—
連結	92,945	96,955	4,010	4.3%	9,791	11,687	1,896	19.4%

〈新造船事業〉

当社および函館どつく株式会社における当連結累計期間の新造船建造事業は、船価の改善と原価の削減、円安の進行により売上高は74,176百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益は12,077百万円(前年同期比20.2%増)となりました。前年同期の業績には決算期が当社と異なる海外子会社とその前の期に竣工時売船した新造船2隻の売上高(約100億円)やその利益(約13億円)、工事損失引当金の戻入益(約95億円)が含まれており、そのような特殊要因を除けば前年同期比で大幅な増収増益であります。製造原価の過半を占める資機材の国内価格の高騰が続き内外価格差が拡大していく中で、サプライチェーンの再編と国際化、合理化設計や生産管理の改善など、グループ一丸となった原価削減活動の効果が出てまいりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、地球環境に配慮したLPG燃料対応大型LPG・アンモニア運搬船(VLGC)1隻やLNG燃料大型石炭専用船1隻など計8隻を完工し、大型撒積運搬船など計17隻を受注した結果、当第3四半期連結会計期間末の受注残高は288,665百万円(前年同期比27.3%増)となりました。

〈修繕船事業〉

函館どつく株式会社と佐世保重工業株式会社が担う修繕船事業は、艦艇や巡視船修繕工事の増加に加え、探査船などの特殊船、LNG運搬船等の外航商船やRORO等の内航船、漁船などの修繕工事に戦略的に取り組み、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,725百万円(前年同期比11.3%増)、営業利益は1,094百万円(前年同期比65.8%増)と増収増益になりました。

当第3四半期連結会計期間末の受注残高は6,848百万円(前年同期比29.1%減)であります。

〈鉄構・機械事業〉

船用機械部門においては原材料費の高騰により低操業を余儀なくされ、鉄構橋梁部門においては昨年7月に発生させました橋桁落下事故により工事が大幅に遅延したことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,032百万円(前年同期比7.8%減)となりました。

損益面は、船用機械部門の低迷に加えて、鉄構橋梁部門において橋桁落下事故処理に伴う見込み費用約5億円を織り込んだことから、204百万円の営業損失(前年同期は146百万円の営業利益)となりました。

当第3四半期連結会計期間末の受注残高は7,996百万円(前年同期比1.1%減)であります。船用機械部門においては新造船市場の好転に伴って今後の受注増が期待されます。

〈その他事業〉

当第3四半期連結累計期間の売上高は5,022百万円(前年同期比11.6%増)、営業利益は434百万円(前年同期比16.5%増)となりました。

当第3四半期連結会計期間末の受注残高は事業環境の好転により2,374百万円(前年同期比35.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2023年12月31日)	増減
総資産	124,901	156,181	31,280
負債 (内有利子負債)	74,937 (11,290)	88,515 (10,375)	13,578 (△915)
純資産	49,964	67,666	17,702
自己資本比率	39.8%	43.1%	3.3ポイント
有利子負債比率	22.7%	15.4%	△7.3ポイント

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、業績の好転や新造船の受注増による現預金、契約資産の増加、保有する投資有価証券の時価上昇等により前連結会計年度末に比べて31,280百万円増加して156,181百万円となりました。

負債は、新規受注案件の増加に伴う契約負債の増加により前連結会計年度末に比べて13,578百万円増加して88,515百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益11,512百万円を計上し、また、その他有価証券評価差額金が6,768百万円増加したことから、前連結会計年度末に比べて17,702百万円増加して67,666百万円となり、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は3.3ポイント増の43.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想および配当予想につきましては、現時点においては2023年11月9日に公表いたしました数値を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,456	41,235
受取手形、売掛金及び契約資産	33,190	44,065
商品及び製品	115	124
仕掛品	3,513	4,583
原材料及び貯蔵品	1,232	1,508
その他	7,035	5,530
流動資産合計	74,541	97,045
固定資産		
有形固定資産	31,909	30,765
無形固定資産	358	343
投資その他の資産		
投資有価証券	17,257	27,112
その他	836	916
投資その他の資産合計	18,093	28,028
固定資産合計	50,360	59,136
資産合計	124,901	156,181
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,851	17,260
電子記録債務	5,057	6,345
短期借入金	3,554	3,676
未払法人税等	383	1,875
契約負債	25,152	31,660
工事損失引当金	898	254
保証工事引当金	388	361
その他	5,284	5,680
流動負債合計	55,567	67,111
固定負債		
長期借入金	7,736	6,699
その他の引当金	279	214
退職給付に係る負債	5,830	6,029
その他	5,525	8,462
固定負債合計	19,370	21,404
負債合計	74,937	88,515

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,168	8,189
資本剰余金	33,934	26,956
利益剰余金	△979	16,840
自己株式	△5	△5
株主資本合計	41,118	51,980
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,070	14,838
繰延ヘッジ損益	29	32
為替換算調整勘定	770	851
退職給付に係る調整累計額	△281	△324
その他の包括利益累計額合計	8,588	15,397
新株予約権	258	215
非支配株主持分	—	74
純資産合計	49,964	67,666
負債純資産合計	124,901	156,181

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	92,945	96,955
売上原価	79,217	80,774
売上総利益	13,728	16,181
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,418	1,582
その他	2,519	2,912
販売費及び一般管理費合計	3,937	4,494
営業利益	9,791	11,687
営業外収益		
受取利息	86	15
受取配当金	1,536	1,318
為替差益	—	920
持分法による投資利益	889	14
その他	407	91
営業外収益合計	2,918	2,358
営業外費用		
支払利息	195	198
為替差損	529	—
その他	183	167
営業外費用合計	907	365
経常利益	11,802	13,680
特別利益		
関係会社清算益	—	21
投資有価証券売却益	34	—
関係会社株式売却益	—	30
特別利益合計	34	51
特別損失		
投資有価証券評価損	68	—
特別損失合計	68	—
税金等調整前四半期純利益	11,768	13,731
法人税、住民税及び事業税	365	2,173
法人税等調整額	△271	△18
法人税等合計	94	2,155
四半期純利益	11,674	11,576
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	64
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,673	11,512

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	11,674	11,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	281	6,778
繰延ヘッジ損益	397	3
為替換算調整勘定	444	82
退職給付に係る調整額	△44	△44
持分法適用会社に対する持分相当額	20	0
その他の包括利益合計	1,098	6,819
四半期包括利益	12,772	18,395
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,766	18,321
非支配株主に係る四半期包括利益	6	74

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年6月23日開催の第124回定時株主総会決議により、資本準備金を7,005百万円減少し、その他資本剰余金に振り替えた後、同日付でその他資本剰余金を6,654百万円減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

なお、株主資本の合計額には、著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	新造船	修繕船	鉄構・機械	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	71,548	11,438	5,459	4,500	92,945	—	92,945
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	324	324	△324	—
計	71,548	11,438	5,459	4,824	93,269	△324	92,945
セグメント利益	10,049	660	146	372	11,227	△1,436	9,791

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,436百万円には、セグメント間取引消去△5百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,431百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務部、経営管理部等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	新造船	修繕船	鉄構・機械	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	74,176	12,725	5,032	5,022	96,955	—	96,955
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	374	374	△374	—
計	74,176	12,725	5,032	5,396	97,329	△374	96,955
セグメント利益又は セグメント損失(△)	12,077	1,094	△204	434	13,401	△1,714	11,687

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△1,714百万円には、セグメント間取引消去△7百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,707百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務部、経営管理部等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。